

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年5月6日 (2010.5.6)

【公開番号】特開2008-229051(P2008-229051A)
 【公開日】平成20年10月2日 (2008.10.2)
 【年通号数】公開・登録公報2008-039
 【出願番号】特願2007-73674(P2007-73674)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 4

【手続補正書】
 【提出日】平成22年3月18日 (2010.3.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技領域が形成され、該遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球が流下可能な遊技盤と、前記遊技領域へ遊技球を発射するための発射装置と、前記遊技領域に配設され、該遊技領域を特定入球口が設けられる第 1 の遊技領域とその他の第 2 の遊技領域とに区画形成する枠状の装飾フレームと、該装飾フレームの上部に形成され、前記第 2 の遊技領域に打ち込まれた遊技球の前記第 1 の遊技領域内への進入の確率が高くなるように動作可能な可動片と、を備え、前記第 2 の遊技領域に打ち込まれた遊技球が前記可動片による動作を通じて前記第 1 の遊技領域内に進入し、該進入した遊技球が前記特定入球口に受け入れられたとき、遊技者にとって有利な特別遊技を行う遊技機であって、

前記第 2 の遊技領域に配設される始動口と、

前記始動口に遊技球が受け入れられたことを検出する始動口検出手段と、

前記始動口検出手段による検出に基づいて前記可動片を駆動制御する可動片制御手段と

、
 前記装飾フレームの下部後方に形成され、前記第 1 の遊技領域の一部として前記特定入球口に受け入れられるか否かの遊技球が転動可能な特定遊技領域と、

前記装飾フレームの上部から内周面に沿ってその一部が配設され、前記特定遊技領域に向けて遊技球の進行方向が多様に変化可能な経路で遊技球を誘導する誘導通路と、

前記特定遊技領域上に前記特定入球口へと向かう遊技球に作用可能に設けられる作用部材と、

前記可動片制御手段による前記可動片の駆動制御に伴って予め設定された駆動態様で前記作用部材を駆動制御する作用部材制御手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記誘導通路は、通過する遊技球を視認可能とする通路部材からなることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技盤に形成されて前記装飾フレームに囲まれた開口部と、

該開口部の後方に配設され、遊技状態に基づいた演出表示が行われる表示手段と、をさ

らに備え、

前記特定遊技領域は、前記表示手段の下方に配置されていることを特徴とする請求項 1
または請求項 2 に記載の遊技機。